



セールスレター作成

—25日目—



「セールスレター作成」講座は、

- ✓ セールスレターの書き方
- ✓ エックスサーバー & WordPressの導入
- ✓ WordPressの設定
- ✓ WordPressの基本操作

の4部構成でお話しします。

まず、最初はセールスレターの書き方について、次に、セールスレターを作成するために必要なサーバーとツールの導入、最後にその設定と操作方法を解説しています。

長くなりますので、読み返す時に、途中から読みたいという場合、下記から飛んでください。

➡ [エックスサーバー & WordPressの導入](#)

➡ [WordPressの設定](#)

➡ [WordPressの基本操作](#)

セールスレターの書き方

▲ セールスレターとは？

セールスレターとは、コンテンツを購入していただくために作成する文章（お手紙（レター））です。

広告などから集客し、数日間に渡りLINEでシナリオ配信して教育した後、セールス時に配信します。



「9つの心理トリガー」でお話ししましたが、オープンカートの日ですね。

LINE上で直接販売するのではなく、LP同様、セールスレターを挟むことで成約率を上げる目的で作成します。

▲ 商品が売れるレターの書き方

セールスレターは自由に書いて商品が売れるかというとはそうではなく、商品が売れるレターの構成には「型」が存在します。

この「型」はいくつかありますが、ここでは最も代表的な『PASONAの法則』についてお話しします。

まずは『PASONAの法則』に則ってレターを書いてみてください。

▲ PASONAの法則とは？

PASONAの法則とは、伝え方の順番の法則で、人間の行動心理に基づいた構成になっています。

売れるレターの骨組みであり、この順番でレターを書くことで読者の購買意欲をかき立て、“購入する”という行動を起こさせます。

PASONAの法則

Problem

問題提起

ペルソナの問題点を
明確に示す

Agitation

煽りたて

問題を解決しないこと
で起こる問題を煽る

Solution

解決策

その問題を解決する方
法を伝える

Narrow down

限定性

なぜ今解決を必要とす
るのかを明確に

Action

行動

今がチャンスであるこ
とを伝え行動させる

順に解説していきます。

① Problem : 問題提起

今、〇〇な状況で△△で悩んでいませんか？
こんな風になりたいと思いませんか？

などと、読者さんの心に寄り添い、心の声を代弁してあげるように、問題点を提起します。

絶対的に質問系で書く必要はありませんが、最初のうちはあまり考えすぎず、LPの問題提起で使ったものをここでも使用すると良いでしょう。

冒頭で問題を明確化し、「そうそう、そうなんだよね…」と共感を得たり、自分のことだと思ってもらうことで、興味を持って読み進めてもらえる流れを作ります。

② Agitation : 煽りたて

提起した問題点について、

このままではその問題は解決しませんよ、後にこんなことになってしまったら辛いですね、うまくいかない原因はこれなんです、といった感じで煽りたて、問題をより明確にし、それは問題だ！と認識してもらいます。

煽るといっても、ここで、うまくいかないのはあなたが〇〇だからです、というように読者さんを責めたり、原因を読者さん自身に作るのは厳禁です。

恐怖心や不安を煽るのではなく、痛みに寄り添い、共感しているからこそわかる痛みに言及するスタンスで書くことが大切です。

③ Solution : 解決策

その問題が解決できる方法があることを伝えます。

ご自身が提供するコンテンツ内容に沿って、具体的にわかりやすく、何がどう解決するかを提示し、商品の紹介をします。

④ Narrow down : 限定性

さらに必要性を煽るために、今すぐ買うべき理由を提示し、緊急性を高めます。

⑤ Action : 行動

「お申込はこちら」など、とってほしい行動を伝え、背中を押します。

盛り込む内容

① 商品紹介について

商品は、ボリュームがあるものに見せること、豪華に見せることが大事です。

例えばですが、3ヶ月のトレーニング講座だとしたら、3ヶ月間のトレーニング内容（タイトル）をすべて見せることが効果的です。

内容がよくわからないコンテンツは買いませんので、ここは丁寧に作り込んでください。

② 生徒さんの声

解決策の裏付け（エビデンス）になります。

読者さんは基本的に、興味はあるけど本当かな…と疑っていますので、解決策で得られるベネフィットを見ることで未来を想起させ、自分もそうになりたい、自分にもできるかも、これは本当かもと思わせる要因になります。

はじめてコンテンツ販売をする際は、このエビデンスがない場合もありますが、その際は「推薦者の声」として、指導者仲間に推薦の声をもらって挿入していきましょう。

③ 価格について

限定！今だけ！感や、〇〇と比べたらこんなにお得なんです、など、この価格で購入するメリットも提示します。

1日たったの〇〇円で受講できます、といった表記も効果的です。

④ 入会後の流れ

読者さんの疑いや不安を晴らすために必ず入れましょう。

例えば、お申込フォーム記入

↓

決済

↓

決済完了〇〇後より動画配信スタート！

のような感じです。

あくまでも例として簡易的に書いていますので、実際にはご自身の販売の流れに沿って、読者さんが迷わないよう、作成してください。

⑤ よくある質問 (Q&A)

買わない理由をなくす項目です。

悩んでいるお客様の背中を押す部分にもなるので、できるだけ想定できる質問を入れましょう。

参考例を一部記載します。

- Q1. LINEの配信日時は決まっていますか？
- Q2. 配信時間に見れない場合はどうなりますか？
- Q3. 兄弟で受講したいのですが、金額はどうなりますか？
- Q4. 講座が終了したあと動画は見れなくなりますか？
- Q5. 子どもだけでも実践できますか？

⑥ 追伸 (最後に)

この講座 (教室) に抱く、ありったけの想いをここで伝えましょう。

途中のテキストを読み飛ばしても、ここをしっかりと読む人は多いです。

ペルソナに対しての本気の気持ちをぶつける場所です。

⑦ プロフィール

最後にプロフィールを載せます。

▲ お客様目線であることが大事

ただ順番を守って書くこと = 売れる ではありません。

お客様の感情に訴求して共感を呼び、信頼してもらえるよう、お客様目線に立って書くことが大切です。

そして最も大事なことは、**あなたが設定したペルソナに向けて自分の言葉（語り口調）**で伝えることです。

ペルソナがぼやけてしまうと、あなたの言葉が浅くなり刺さらないレターが完成してしまいますので、ここは非常に大事な部分になります。

▲ ヘッダー&サブヘッド・画像について

せっかく一生懸命書いたレター…、上から下まで全部しっかり読んでもらいたいところですが、多くの人はテキストを読みません。

まず大前提として、**人は読まない生き物**だということを理解して、レターを作成することが重要です。

読み手から書き手に立場が変わると見失いがちですが、ご自身のことを思い出してみてください。

セールスレターを、小説を読むように、初見で最初から最後までじっくり読み進めたでしょうか？

きっとそうではなかったはずで、しかも、高速スクロールで飛ばしながら読むというより見た、という人も多いはずです。

よって、**視覚から得られる情報でいかに心を動かせるかが鍵**であり、そのためには、ヘッダー・サブヘッド・画像は超重要な役割を果たします。

① ヘッダー画像

ヘッダー画像含め、そのページを開いた時に一番最初に目に入る領域を「FV（ファーストビュー）」と言いますが、まずFVで何も読者さんの心を動かせないと、そこでページを閉じてしまったり、その先を興味を持って読み進めてもらうことができません。

LPの基礎講座でもお話ししましたが、画像と言葉を駆使して、ここで読者さんの興味を引くと共に、何についての紹介ページなのかを一目見てわかるようにしましょう。

② サブヘッド

サブヘッドは見出しとも言いますが、レター内の区切り区切りに挿入するタイトルです。

ただズラズラとテキストを書き連ねても、読む側にとっては苦痛でしかなく、確実に離脱していきます。

そして、サブヘッドは大きな字にしたり色をつけたり、背景にデザインをつけたりして必ず目立たせましょう。

サブヘッドは、ただ文章を区切って読みやすくするだけでなく、デザインすることで高速スクロールしていても目に止まりますので、サブヘッドだけを捨てて見ていっても、なんとなく内容がつながっていることが理想です。

デザインだけでなく、せっかく視覚に入っているのですから、その先の内容を読んでみたくなるような言葉を選ぶことも大切で、途中途中で気になるタイトルがあれば、スクロールする手を止めてくれます。

③ 画像

サブヘッドと同じで、画像も、見ようと意識しなくとも確実に読者さんの視覚に触れますので、ところどころ画像を挿入しましょう。

ここで大切なのは、画像が、そのタイトルやタイトル内の内容とリンクしていることです。

サブヘッドだけを拾って見ていっても、なんとなく内容が繋がっていることが理想と言いましたが、もっと言えば、サブヘッドと画像だけを拾っていけば内容が掴めるようになっているとさらに良いですね。

▲ 特定商取引法の表記とプライバシーポリシー

特定商取引法の表記は法で定められているものですので、ネット上で何かを販売する際、セールスレターへの記載は必須です。

まず「特定商取引法の表記」「プライバシーポリシー」それぞれのページを別に作成します。

セールスレター最下部には、

特定商取引法の表記 | プライバシーポリシー

と記載し、作成した「特定商取引法の表記」「プライバシーポリシー」それぞれのページのリンクを埋め込みます。

「特定商取引法の表記」のテンプレートを次のページに記載しましたので、活用してください。

※プライバシーポリシーに関しては、Canva活用術とLP応用編の中で紹介しています。

① 特定商取引法の表記テンプレート

商品名	ご自身の教室名やコンテンツ名を記載
代表責任者	責任者氏名を記載
所在地	住所を記載 (自宅住所では不都合が生じる場合は、 レンタルオフィスの契約がおすすめです。)
電話番号	電話番号を記載
メールアドレス	メールアドレスを記載 スパム対策のため「@」を「★」に変えて記載し、 下記文言を記載してください。 ご連絡の際はお手数ですが「★」部分を「@」にご変更 の上、ご連絡願います。
ホームページ URL	あれば記載。なければこの項目は必要ありません。
販売価格	商品ご紹介ページをご参照ください
商品以外の 必要料金	商品ご紹介ページをご参照ください
引き渡し時期	商品ご紹介ページをご参照ください
お支払い方法	商品ご紹介ページをご参照ください
返品・交換・ キャンセル等	お客様のご都合による返金は致しかねます。
表現および商品 に関する注意	本商品に示された表現や再現性には個人差があり、必 ずしも利益や効果を保障したものではありません。

エックスサーバー & WordPressの導入

では何を使ってどのように作成していくのか？という話に移ります。

LP作成の講座では、ペライチをご紹介しましたが、ここではエックスサーバーとWordPressをご紹介します。

ペライチで、料金を支払ってページの追加をしていただいても良いのですが、すると料金はこの方法とさほど変わりません。

あとは、この方法だとページ制限がないため、この先、別の講座をセールスをする時に別のレターを作成したり、サイト上でコンテンツを作成して公開するなど、使える機会がたくさんあるかと思います。

ペライチのようにテンプレ式ではありませんが、今から操作に慣れていった方が将来的に役立つと思いますので、ぜひ導入してみてください。

▲ エックスサーバーとWordPressとは？

ざっくり説明すると、まず、セールスレター含めホームページなどは、レンタルサーバーを使用しなければネット上への公開ができません。

この、レンタルサーバーの会社がエックスサーバーです。

そしてWordPressとは、簡単に言うと、記事やサイトの作成・管理ができるソフトで、世界中で使用されている最もポピュラーなツールです。

つまり、WordPressで作成した記事を、エックスサーバーを使用してネット上に公開するということになります。

最初は、何のことやらさっぱり…という感じかもしれませんが、とにかくまずは、ここに記載した通りにやってみましょう！

▲ エックスサーバー

ではまず、エックスサーバーから解説します。

画像を載せて説明していますが、ちょこちょこ仕様変更があるのでまったく同じ画面ではないかもしれません。

ですが、ワケがわからなくなるほどガラッと変わることはないはずですので、似通った部分をクリックして進めてみてください。

【1】 契約

まず、エックスサーバーを契約しましょう。

Xserver公式サイト → <https://www.xserver.ne.jp/>



サーバーID **必須**

xs846308 [自分で決める](#)

プラン **必須**

人気No.1		
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
スタンダード	プレミアム	ビジネス
月額 990円 ~	月額 1,980円 ~	月額 3,960円 ~
vCPU (リソース保証) 6コア	vCPU (リソース保証) 8コア	vCPU (リソース保証) 10コア
メモリ (リソース保証) 8GB	メモリ (リソース保証) 12GB	メモリ (リソース保証) 16GB
容量 300GB	容量 400GB	容量 500GB

こちらを選択

ドメインを取得してすぐにWordPressブログを始められる！

✓WordPress新規設置 ✓独自SSL自動設定 ✓ドメイン取得・設定

WordPressクイックスタート **任意**
(WordPressの一括設定無料オプション)

①本オプションに関するご注意：

- お支払方法はクレジットカード払い・翌月後払いのみとなります。
- お申し込みと同時にサーバー料金のお支払いが発生します。
- **10日間無料のお試し期間はありません。**
- サーバーの移転には対応していません。

チェック入れない 利用する

クリック

Xserverアカウントの登録へ進む

次のページで・・・

サーバーIDを「自分で決める」ことができますが、
デフォルトのままで大丈夫です。



『Xserver レンタルサーバー お申し込みフォーム』が表示されるので、
必要事項を記入し、「次へ進む」をクリック。



メールが届くので、メール内の指示に従ってください。



「サーバーアカウント設定完了のお知らせ」
というメールが届いたら、サーバーが使えるようになります。

※設定完了まで最大で24時間かかると表記されていますが、
数分で完了メールが届くことが多いです。

【2】 独自ドメインを取得する

ドメインというのは、インターネット上の住所みたいなものです。

検索して出てきたサイトを開くと、スマホでもPCでも画面最上部に、

https://○○○○.com/〜〜

のようにURLが表示されますよね。

(.comの部分は、.net .jp .xyz など、サイトによって様々です。)

この、○○○○.comの部分を「ドメイン名」と言い、世の中に同じものは存在しません。

この部分に表示させる、オリジナルのドメイン名を取得しましょう。

① 『Xserverアカウント』にログインする

トップページから、申込みフォームでご自身で決めて入力したパスワードでログインしてください。

The screenshot shows the Xserver website homepage. At the top, there are navigation links for 'レンタルサーバー', '法人レンタルサーバー', 'ドメイン取得・管理', 'SSL証明書', and '法人クラウドストレージ'. Below this, there's a banner for 'レンタルサーバー おかげさまで【国内シェア】No.1' and a 'ここをクリック' (Click here) section with a red arrow pointing to the 'お申し込み' (Sign up) button. A dropdown menu is open, showing options: '> Xserverアカウント', '> サーバーパネル', '> ファイルマネージャ', and '> WEBメール'. The bottom of the page features a large promotional banner for a '19周年記念 キャンペーン' (19th Anniversary Campaign) with '半額' (Half price) and 'キャッシュバック' (Cash back) offers, and a 'ドメイン永久無料' (Domain free forever) offer.

② 『ドメイン取得』をクリック

サーバー

サーバーID	契約	プラン	サーバー番号	利用期限	操作
xs366736	試用	X10	sv12734	2021/09/13 <small>△ 期限満了</small>	ファイル管理 サーバー管理 ...

ドメイン

ここをクリック → **ドメイン取得** | ドメイン移管

ご利用中のドメインはありません。

SSL証明書

ご利用中のSSL証明書はありません。

サポート

③ ドメイン名にしたい文字を入力

Xserverドメインのお申し込み

▼ 新規取得 | > 一括取得 | > 移管申請 (登録事業者の変更)

ご希望のドメイン名を入力してください。
http://wwwなどは付けず、独自ドメイン名のみをご入力下さい。

※ドメインは半角英数字とハイフンでご入力ください。「.com」「.net」「.jp」「都道府県.jp」は日本語での入力も可能です。
※日本語ドメインのお申し込みは、「.com」「.net」「.jp」「都道府県.jp」のみ承っております。

自身のコンテンツに合った名前を英字で入力

取得したいドメインを入力

全選択/解除

com | net | jp | xyz | site | online | info

org | co.jp | fun | biz | me | ne.jp | blue

このどちらかが一般的です

「使えないドメイン名です」などと表示された場合、別のドメイン名を入力し直して再度検索してください。

お伝えした通り、世の中に同じものは存在しませんので、既に誰かが使用しているドメイン名は使用することができません。

使えるドメイン名の場合、そのまま支払方法を選択し、決済画面に進みます。

支払いが終わればドメインの取得は完了です。

※ドメイン取得料金は、.comの部分は何にするかでも金額が違い、通常1,200円前後で、年1回同じくらいの更新料がかかります。キャンペーンを開催していることも多く、安く取得できる場合もあります。

【3】ドメインをサーバーに反映させる

① 『サーバーパネル』にログインする

ログイン情報は、「サーバーアカウント設定完了のお知らせ」のメール内に記載されています。

「Xserverアカウント」のログイン情報でもログインできます。

The screenshot shows the Xserver website's navigation bar. The 'サーバーパネル' (Server Panel) option is highlighted with a red box, and a red arrow points to it from the text above. The page also features promotional banners for a 19th anniversary campaign and various services like domain management and SSL certificates.

もしくは、「Xserverアカウント」にログインして、下記部分をクリックすることでもサーバーパネルに入れます。

サーバー					+ 追加申し込み
サーバーID	契約	プラン	サーバー番号	利用期限	
	通常	スタンダード	sv3068	2022/08/31 自動更新	ファイル管理 サーバー管理

② 「ドメイン設定」をクリック

サーバーパネル

ここをクリック

アカウントデータ	アカウント	メール	ドメイン
① 番号 ② プラン ③ 使用量 ④ 量 ⑤ ール数	パスワード変更 サーバー情報 バックアップ Cron設定 SSH設定	メールアカウント設定 迷惑メール設定 自動応答設定 SMTP認証の国外アクセス制限設定 メールの振り分け	ドメイン設定 サブドメイン設定 DNSレコード設定 SSL設定 動作確認URL

③ ドメインを設定する

青枠の は必ず入れてください。

特に「無料独自SSLを利用する」にチェックを入れないと、通信が保護されず、サイトが危険に晒される可能性があります。

ドメイン設定 [関連マニュアル](#)

独自ドメイン設定の追加、削除を行うことができます。追加したドメイン設定を利用して、メールアカウントやFTPアカウントを作成することができます。①こちらを選択

ドメイン設定一覧 [ドメイン設定追加](#) ②ドメイン名を入力

ドメイン名

無料独自SSLを利用する (推奨)
 高速化・アクセス数拡張機能「Xアクセラレータ」を有効にする (推奨)

③どちらもチェックは入れたままで！

④クリックして進む [確認画面へ進む](#)

XSERVER レンタルサーバー サーバーパネル ServerPanel

トップ マニュアル ログアウト

アカウント

- パスワード変更
- サーバー情報
- バックアップ
- Cron設定
- SSH設定
- 二段階認証設定

ホームページ

- アクセス制限
- エラーページ設定
- MIME設定
- .htaccess編集

ドメイン設定

関連マニュアル

独自ドメイン設定の追加、削除を行うことができます。追加したドメイン設定を利用して、メールアカウントやFTPアカウントを作成することができます。

ドメイン設定一覧 **ドメイン設定追加**

以下のドメイン設定を追加しますか？

ドメイン名	
無料独自SSL設定	追加
Xアクセラレータ	有効にする

戻る **追加する** **クリック**

これで、サーバーにドメインを反映させる作業は終了です。

「ドメイン設定の追加を完了しました」というページが表示されますが、実際には、完了まで数分～1時間程度時間がかかります。

完了ページに表示されているご自身のURLをクリックすると、「無効なURLです」と表示される場合は反映待ち状態なので、反映されるまで待ちましょう。

WordPress

次に、エックスサーバーとワードプレスを連携させます。

【1】エックスサーバーにWordPressをインストールする

①エックスサーバーのトップページから「サーバーパネル」にログインします。

②下の方にある「WordPress簡単インストール」をクリック。

※ MIME設定		※ エラーログ
※ .htaccess編集	データベース Database	高速化 Speeding Up
※ サイト転送設定	※ MySQL設定	※ Xアクセラレータ
※ アクセス拒否設定	※ MySQLバックアップ	※ サーバーキャッシュ設定
※ CGIツール	※ MySQL復元	※ ブラウザキャッシュ設定
※ 簡単インストール	※ phpmyadmin(MySQL5.7)	
※ Webフォント設定	PHP PHP	セキュリティ Security
※ ads.txt設定	※ PHP Ver.切替	※ WAF設定
WordPress	※ php.ini設定	
※ WordPress簡単インストール		
※ WordPress簡単移行		
※ WordPressセキュリティ設定		

Xserver SERVER-PANEL © 2003-2021 Xserver Inc.

※ **ここをクリック**

次の画面でドメインを選択します。

エックスサーバーから、「~~~~.xsrv.jp」というドメインが無料で付与されていますが、それではなく、先ほど作成した独自ドメインを選択してください。

③アカウント情報を入力

WordPress簡単インストール 関連マニュアル

WordPressを簡単に設置することができます。

インストール済みWordPress一覧 **WordPressインストール** ← **こちらのタブを選択**

設定対象ドメイン []

バージョン WordPress 日本語版 5.8
※同バージョンのマイナーアップデートが公開されている場合は、自動で更新します。

インストール済みWordPress一覧 **WordPressインストール**

設定対象ドメイン []

バージョン WordPress 日本語版 5.8
※同バージョンのマイナーアップデートが公開されている場合は、自動で更新します。

サイトURL http:// [] / [] **そのままOK**

ブログ名 **とりあえずの名前でOK。後で変更可。**

ユーザー名

パスワード **WordPressにログインする時必要**

メールアドレス **メールアドレスを入力**

キャッシュ自動削除 ONにする OFFにする
両方このままで!
ONにするとWordPressのキャッシュを一定間隔で削除します。

データベース 自動でデータベースを生成する 作成済みのデータベースを利用する
WordPressに利用するデータベースの作成や設定が自動的に行われます。
※本機能を用いて生成されたデータベースに関する情報は、「WordPress簡単インストール完了画面」に表示されます。

全部入力したらクリック



次の画面で、入力した情報に間違いがないか確認し、「インストールする」をクリック。

これでWordPressのインストールは完了です。

ドメイン設定の時と同様、完了まで数分～1時間程度時間がかかります。

完了ページに表示されているご自身のURLをクリックすると、「無効なURLです」と表示される場合は反映待ち状態なので、反映されるまで待ちましょう

反映が完了すると、URLをクリックすると下記のようなWordPressへのログイン画面が表示されます。

The image shows the WordPress login interface. At the top center is the WordPress logo, a blue circle with a white 'W'. Below the logo is a white rectangular form with a light gray border. Inside the form, there are two input fields: the first is labeled 'ユーザー名またはメールアドレス' (Username or email address) and the second is labeled 'パスワード' (Password). To the right of the password field is a blue eye icon for toggling visibility. Below the input fields is a checkbox labeled 'ログイン状態を保存する' (Remember me) and a blue button labeled 'ログイン' (Log in). Below the form, there is a link that says 'パスワードをお忘れですか?' (Forgot your password?) and a link that says '← へ移動' (Move to ←).

完了ページを閉じてしまった場合、次のページで紹介する流れでログインすることができます。

完了ページを閉じてしまった場合の WordPressへのログイン方法

エックスサーバー「サーバーパネル」にログイン



「WordPress簡単インストール」をクリック



独自ドメイン名右横の「**選択する**」をクリック



そのページ内に表示されている「管理画面URL」をクリックすると、前のページで紹介したようなWordPressへのログイン画面が表示されます。

簡単インストールで設定した、ユーザー名とパスワードでログインしてください。

※上記方法で毎回ログインするのは面倒ですので、WordPressにログインしたらブックマークしておきましょう。

また、取得したドメインの末尾に「/wp-admin」をつけることでもログイン画面を開くことができます。

例) <https://〇〇〇〇.com/wp-admin>

今後、誰かと共有作業をするときなどは、上記URLを渡してあげてください。

【2】SSL設定をする

エックスサーバーのドメイン設定で、

『「無料独自SSLを利用する」にチェックを入れないと、通信が保護されず、サイトが危険に晒される可能性があります。』

と言いましたが、WordPressの方でも設定が必要です。

下記の通り進めて設定してください。

WordPressにログイン



左サイドバーのメニューから「設定」→「一般」をクリック



「WordPress アドレス (URL)」

「サイトアドレス (URL)」

この2ヶ所の「http」部分を「https」に変更
(httpの後ろに「s」を入力すればOKです)



一番下の「変更を保存」をクリック

これで通信は保護されました。

ブラウザ上部に表示されているご自身のURLの一番左に、鍵マークが表示されていればOKです。

【3】 サイト名を変更したい場合

WordPress簡単インストールの情報入力の際、「ブログ名」は後で変更できるのでとりあえずの名前でOKと言いましたが、変更する場合、同じ画面から変更できます。

左サイドバーのメニューから「設定」→「一般」をクリック

その画面内の、「サイトのタイトル」の欄に表示されているタイトルを変更してください。

WordPressの設定

WordPressを使い始めるにはいくつか設定が必要ですので、まずはそれらの設定を済ませます。

やることがたくさんあるように感じるかもしれませんが、1つ1つの作業は単純ですので、坦々と進めて終わらせてしまいましょう。

▲ テーマの設定

テーマとは、ワードプレスのデザインや操作を司るファイルテンプレートのことで、無料・有料のもの含めて何千ものテーマが存在します。

閲覧するサイトのデザインが様々なのは、このテーマによるところも大きく、テーマによって、できることできないことが異なります。

ここでは無料で使用でき、無料とは思えないほど機能性が高い『Cocoon』をご紹介します。

Cocoonは国産で、マニュアルもしっかりしていること、また、利用者が多いためCocoon使用に関するブログを書かれている方も多いため、つまづいた時にググれば解決しやすい点もお勧めポイントです。

元々はブログ構築用に開発されたテーマですので、皆さんは使用しない機能もかなりありますが、必要な操作だけに絞ってご紹介します。

使用しない部分に関しては、まずは覚えていただかなくて大丈夫！

まずは基本操作のみを覚えて、レターを作成できるようになりましょう。

その後、興味があれば、別のテーマを調べて導入していただいても良いかと思えます。

【1】 Cocoonをダウンロードする

下記公式サイトからCocoonをダウンロードしてください。

Cocoonダウンロードページ → <https://wp-cocoon.com/downloads/>

”Ccoonテーマ”をダウンロード

”Ccoon子テーマ”をダウンロード

から、**必ず2つ**ダウンロードしてください。

【2】 WordPressにインストールする

①WordPressダッシュボードにログインして、左サイドメニューの「外観」→「テーマ」をクリック。

② 上部の「新規追加」→「テーマのアップロード」の順にクリック。

③ 「ファイルを選択」をクリックして、ダウンロードした”Cocoonテーマ”を解凍せずzipファイルの状態を選択
➔ 「今すぐインストール」をクリック。

④ テーマのインストールが完了しました と表示されたら、「テーマのページに戻る」をクリック。

⑤ 再び「テーマのアップロード」をクリックし、今度は”Ccoon子テーマ”を、親テーマと同じようにアップロードします。

⑥ テーマのインストールが完了しました と表示されたら、今度は「有効化」をクリックします。

「外観」→「テーマ」の画面で、下記のようにCocoonが2つ並び、
”Cocoon Child”の方が有効になっていればOKです。



▲ パーマリンク設定

パーマリンクとは、ページごとの個別URLのことです。

例えばですが、<https://dance-kids.com>

というWebサイトURLがあったとします。

ここにページを複数作成していくと、ページごとに、

<https://dance-kids.com/○○○○>

<https://dance-kids.com/△△△△>

<https://dance-kids.com/◇◇◇◇>

というように、ページごとに異なるURLが末尾に設定されます。

この末尾の部分を実はパーマリンクと言ひ、この部分を、ページを作成するごとに自分の好きなように設定できるようにしておきます。

- ① 左サイドメニューの「設定」→「パーマリンク」をクリック。
- ② 「投稿」を選択して、「変更を保存」をクリック。

実際にどう設定するかは、基本操作の紹介で後ほどお伝えします。

Cocoon設定

Cocoon設定では、Cocoonテーマを使用する際、使用する機能しない機能の設定、表示項目の設定など、様々な調整ができます。

Cocoonは多機能なため、Cocoon設定の画面を開くとタブがたくさん並んでいて混乱しそうになるかもしれませんが、皆さんに必要な設定だけに絞ってお伝えしますので、他の部分は気にせず触らずで大丈夫です。

では、左サイドメニューから、「Cocoon設定」→「Cocoon設定」を開いてください。

その中に並んでいるタブの中から、**設定が必要なタブ**を紹介します。他はデフォルトのままで大丈夫です。

※設定変更時には、必ず最後に「変更をまとめて保存」をクリックしてください！

【1】スキン

通常、1テーマにつき1デザインなのですが、CocoonはCocoonの中にもさらにデザインが複数用意されており、それをスキンと呼びます。

皆さんの場合、サイトを構築するわけではなく、1ページ単独での表示しかしませんので、一番上の「なし」で問題ありません。

一覧の、それぞれのスキンの冒頭にある画像アイコンにカーソルを合わせるとデザインイメージが見れるのと、作者名をクリックすると詳しいページに飛びますので、気になるようでしたら見て変更してください。

皆さんに関係あるとしたら、「見出し（サブヘッド）」のデザインになります。

サブヘッドは、Canvaなどで画像として作成してデザインしたものを取り込んだ方が、オリジナリティが出て良いのですが、もし、ワードプレスの機能を使用するのであれば、スキンによってデザインが違います。

【2】 全体

サイドバーの表示状態 → 「固定ページで非表示」を選択。

【3】 固定ページ

①コメント設定 → 「コメントを表示する」のチェックを外す。

②パンくずリストの配置 → 「表示しない」を選択

【4】 本文

一番下の「投稿情報表示設定」 → すべてチェックを外す。

【5】 目次

「目次を表示する」のチェックを外す。

【6】 SNSシェア

トップシェアボタン・ボトムシェアボタン共に、シェアボタンを表示のチェックを外す。

【7】 SNSフォロー

「本文下のフォローボタンを表示する」のチェックを外す。

【8】 ブログカード

内部ブログカード設定・外部だろぐカード設定ともに、「ブログカード表示を有効にする」のチェックを外す。

【9】 アピールエリア・おすすめカード・カルーセル

すべて「表示しない」が選択されているか確認してください。。

【10】 フッター

ここは自由ですが、下記のようにしておく方が良いかと思います。

① フッター表示タイプ

→「メニュー&クレジット（中央揃え）」を選択

② クレジット表記

→著作権者表記は記入せず、真ん中の「Copyright@2022〜〜〜」を選択。

※実際には、レターでは記事作成時に表示させないように設定するので何でも良いです。後にレター以外で使用する場合の参考にしてください。

【11】 モバイル

モバイルメニュー → 「ボタンを表示しない」を選択。

【12】 管理者画面

① 投稿一覧設定

管理画面でどの項目を表示させるかです。右のように3ヶ所チェックを入れれば良いと思いますが、自分の好みがあれば適宜変更してください。

② 管理者パネル

管理者パネルの表示 → 「表示しない」を選択。

- 作成者を表示する
 - カテゴリーを表示する
 - タグを表示する
 - コメントを表示する
 - 日付を表示する
 - 投稿IDを表示する
 - 文字数を表示する
 - PVを表示する
 - アイキャッチを表示する
 - メモの内容を表示する
- ① 投稿一覧テーブルのカラム表示

【13】 エディター

「Gutenbergエディターを有効にする」のチェックを外す。

Gutenbergというのは、2018年頃に新しく発表された新しいエディターで、ブロックエディターとも言います。

従来型をクラシックエディターと言い、クラシックは、一枚のページに文字や画像を入れていく、Wordのようなスタイルの入力形式で、Gutenbergは、文字ブロック、画像ブロック、のように、表示したいスタイルのブロックを挿入して組み合わせていく入力形式です。

ググれば情報はたくさん出てきますので、使いたい方を使っていただいて構いませんが、特に凝ったサイトを作るわけではないので、ここでは、比較的操作が楽なクラシックエディターを使用する前提で話を進めます。

今後、Gutenbergを使用したい場合は、ここにチェックを入れてください。

【追記】 サイトホームページ画像について

チャットワークやSNSなどに作成したページURLを貼り付けると、デフォルトでは下記のように表示されます。



これを変更する2つの方法についてご紹介します。

- ① Cocoon設定を開く
- ② 「OGP」タブを選択

1 Cocoon 設定

Cocoon 設定

Cocoonの設定全般についてはマニュアルを参照してください。 [テーマ利用マニュアル](#)

スキン	全体	ヘッダー	広告	タイトル	SEO	OGP	アクセス解析・認証	カラム
SNSフォロー	画像	プログカード	コード	コメント	通知	アピールエリア	おすすめ	
PWA	管理者画面	ウィジェット	ウィジェットエリア	エディター	API	その他	リ	

変更をまとめて保存

OGP設定

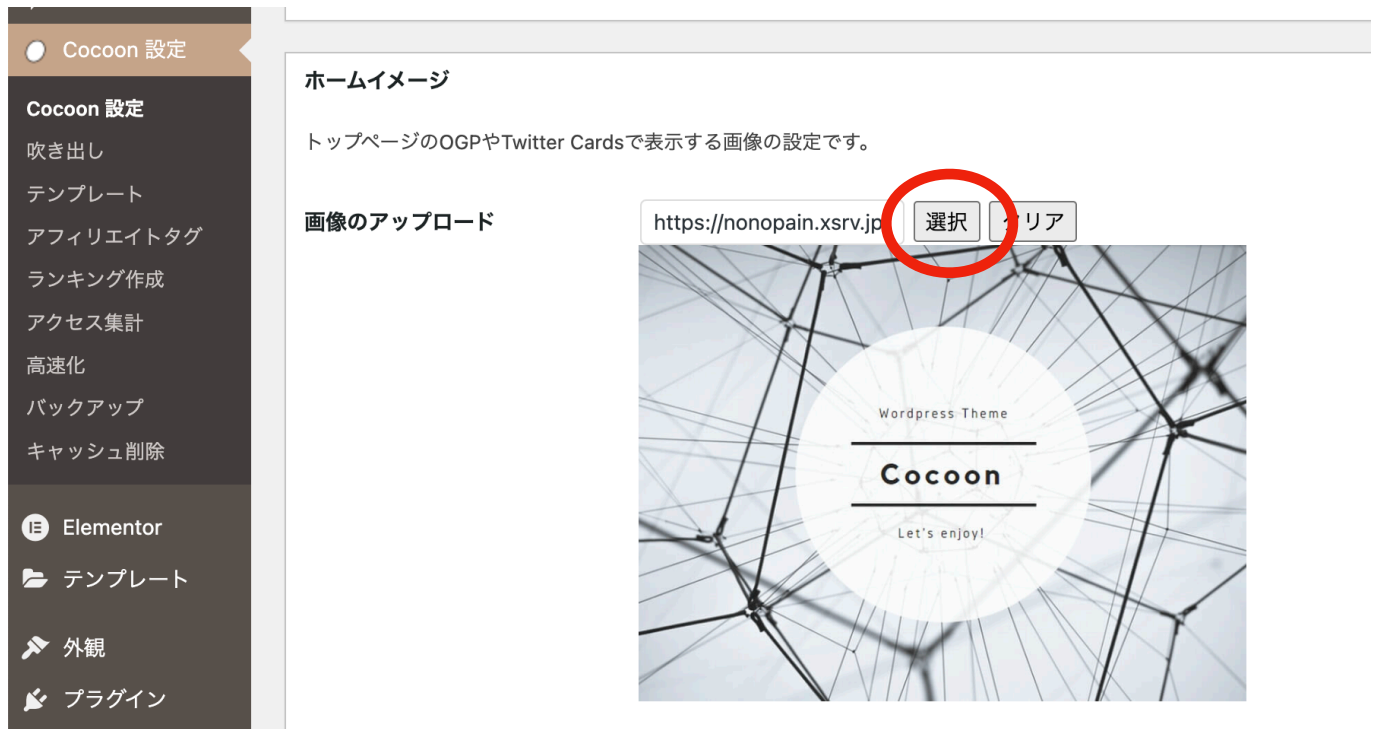
OGPとは「Open Graph protocol」の略称です。FacebookやTwitterなどのSNSでシェアされた際に、に正しく表示させる仕組みです。

OGPの有効化

OGPタグの挿入
headタグ内にFacebookや外部サイトなどに、ページの構

③のチェックを外すと、画像やタイトルは表示されずURLのみが表示されます。

オリジナル画像を表示させたい場合、③のチェックは入れたままで同ページ内の下の方「ホームイメージ」で画像を変更します。



「選択」をクリックして、画像をアップロード。
推奨画像サイズは指定されていませんが、16:9だとしっくりきます。
例) 1200×675 800×450

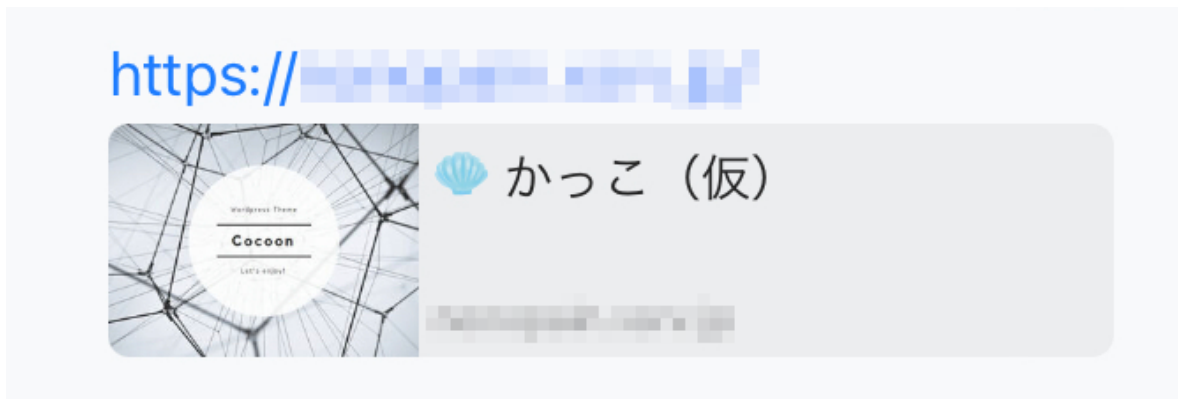
<変更例>



最後は「変更をまとめて保存」クリックを忘れずに！

例として、これをチャットワークで送ってみると・・・

<変更前>



<変更後>



ただ、画像変更前に一度URL送信歴がある場合、そのアプリ内にキャッシュが残っている影響で、変更後も変更前の画像が表示されてしまうようです。

時間が経つといつの間にか更新されていることもあり、ここに関してはそれぞれの環境によることもありコントロールが難しいので、最初に設定しておいた方が無難です。

設定後に、初めて送信するアプリ内では、ちゃんと設定が反映されます。

▲ プラグインの設定

プラグインとは、簡単に言うと拡張機能のことです。

用途に合わせて機能を追加でき、膨大な数のプラグインがあるのですが、皆さんがレターを作成する場合、まずは1つのプラグインのみでOKです。

デフォルトで、

- ・ Akismet Anti-Spam
- ・ Hello Dolly
- ・ TypeSquare Webfonts for エックスサーバー

が入っていますが、すべて使用しませんので、目障りなら削除しても構いません。

【1】 Advanced Editor Toolsをインストールする

- ① 左サイドメニューの「プラグイン」→「新規追加」をクリック。
- ② 検索窓に「Advanced Editor Tools」と入力し、表示されたら「今すぐインストール」をクリックして「有効化」します。

The screenshot shows the WordPress 'Add New Plugin' page. At the top, there is a search bar with the text 'Advanced Editor Tools' entered. A red box labeled '1' highlights this search bar. Below the search bar, there are two plugin cards. The first card is for 'Advanced Editor Tools (previously TinyMCE Advanced)'. A red box labeled '2' highlights the '今すぐインストール' (Install Now) button on this card. The second card is for 'Advanced Ads - Ad Manager & AdSense'. The interface also shows a pagination bar indicating 715 items and a help menu.

似たような名前のプラグインも表示されますので、上記と同じものか確認してインストールしてください。

【2】 Advanced Editor Toolsの設定

Advanced Editor Toolsは、記事作成時に、文字色の変更やスタイル変更などが、ボタン一つでできるようになるツールです。

ここで設定したボタンが、記事作成画面の上部に表示され、使用できるようになります。

ご紹介する設定で問題なく使用できるはずですが、使用していて変更が必要であると思えば、適宜変更してください。

- ① プラグインのページで、Advanced Editor Toolsの「設定」をクリック



- ② 旧エディター (TinyMCE)のタブを選択



次のページで紹介しているように設定してみてください。

クラシックエディター用ツールバー

エディターメニューを有効化する。

ファイル ▾ 編集 ▾ 挿入 ▾ 表示 ▾ フォーマット ▾ テーブル ▾ ツール ▾
段落 ▾ B I “ ☰ ☷ ☹ ☺ ☻ ☼ ☽ ☾ ☿ Ⓜ Ⓝ ↶ ↷

フォントファ... フォントサイズ ▾ ☰ ☷ ☹ ☺ ☻ ☼ ☽ ☾ ☿ Ⓜ Ⓝ A ☰ ?

ドラッグ&ドロップ

ツールバーにボタンをドロップするか、ドラッグしてボタンを並べ替えます。

使用しないボタン

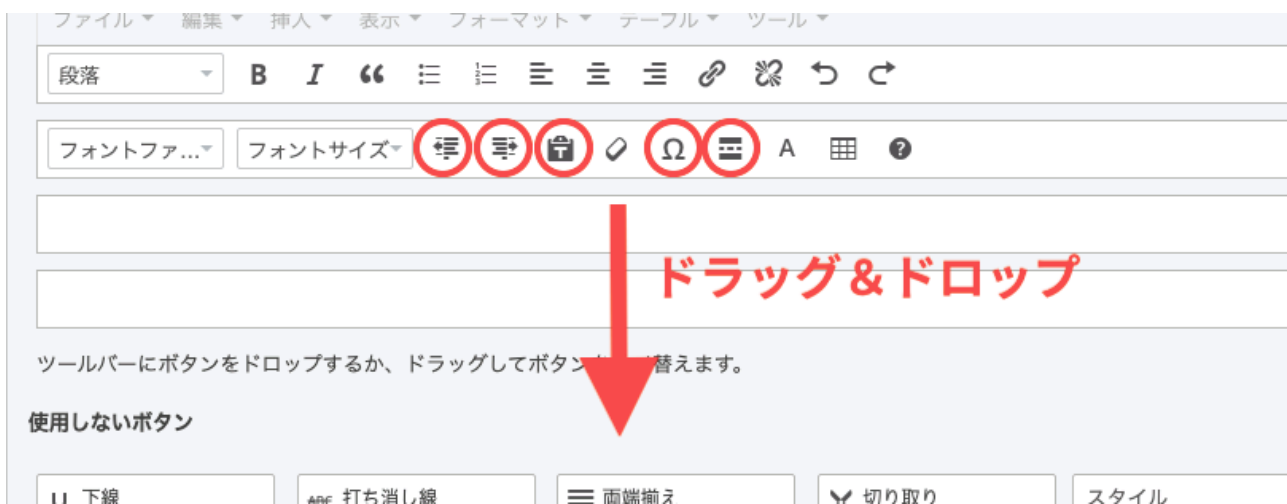
ドラッグ&ドロップ

ドラッグ&ドロップ



次に、今後使用することはないと想定されるボタンを除外します。

ですが、使わないものに関しては使わなければ良いだけの話なので、わざわざ除外しなくとも放置でも大丈夫です。



最後に「変更を保存」をクリックを忘れずに。

▲ CSSの追加

CSSとは、Webページのスタイルを設定するプログラミング言語です。

という難しいことは覚えなくて全然大丈夫なのですが、1つだけ設定が必要です。

なぜこれが必要かは、基本操作の説明でお話ししますので、とりあえず下記作業だけしておいてください。

- ① 左サイドメニューの「外観」→「カスタマイズ」をクリック。
- ② 一番下の「追加CSS」をクリック。
- ③ 空白欄に、下記をコピー&ペーストして、「公開」をクリック。

↓ 下記をコピー&ペースト ↓

```
/*固定ページタイトル非表示*/  
.page .entry-title{  
  display: none;  
}
```

下記のように表示されていれば大丈夫です。

```
1 /*固定ページタイトル非表示*/  
2 .page .entry-title{  
3   display: none;  
4 }
```

または

```
1 /*固定ページタイトル非表示*/  
2 .page .entry-title{  
3   display: none; }
```


▲ サイトアイコンの設置

サイトアイコンとは、タブに表示される小さなアイコンのことです。



Cocoonテーマを使用していると、デフォルトでこの繭玉のようなアイコンが表示されるようになっています。

このままでも問題ありませんが、オリジナルのアイコンに変更したい場合は、下記手順で変更してください。

- ① 左サイドメニューの「外観」→「カスタマイズ」をクリック。
- ② 「サイト基本情報」をクリック。
- ③ 一番下の「サイトアイコンを選択」をクリックして、お好みの画像をアップロードして設定してください。（画像推奨サイズ 512px × 512px）
- ④ 最後に「公開」をクリック。

※このページでサイトのタイトルも変更できます。

※キャッチフレーズも変更・削除できますが、ページには表示させないよう記事作成時に設定しますので、このままでも消してもどちらでもOKです。

基本的な設定は以上になります。

WordPressの基本操作

では、いよいよWordPressの基本操作の説明に入ります。

▲ 固定ページ作成

記事を作成する場所は、「投稿」と「固定ページ」の2ヶ所ありますが、皆さんが使用するのは「固定ページ」になります。

「投稿」は、ブログのように何記事も公開して、いろいろな記事を行き来できるような記事に使用します。

レターのように、1ページで完結し、1ページのみ表示させたい記事は固定ページで作成します。

固定ページ一覧を開くと、デフォルトで「サンプルページ」が入っていますが、使用しませんのでゴミ箱へ移動して削除して構いません。

では、特定商取引法の表記・プライバシーポリシー・セールスレター3つのページを作成していきましょう。

【1】 特定商取引法の表記のページ作成

- ① 左サイドメニューの「固定ページ」→「新規追加」もしくは、「固定ページ」→「固定ページ一覧」→「新規追加」をクリック。
- ② 右サイドバーの「ページ設定」で、ページタイプ「本文のみ（狭い）」を選択。
- ③ 本文入力欄下の「SEO」で「インデックスしない（noindex）」に適宜チェック。

- ④ タイトルに「特定商取引法の表記」と入力。
- ⑤ パーマリンクの編集をクリックして、タイトルや内容に沿った英字に書き換えます。



この①～⑤の手順は、何のページを作成するときでも同じです。

「本文のみ（狭い）」を選択しないと、ページ上下にヘッダー・フッターが表示されたり、幅が広く見づらいページになってしまいますので、これを選択してください。

「インデックスしない」は、ページを検索結果に表示させない機能です。

公開した時点で、すべての記事は検索結果に表示されるよう、Googleエンジンが働きます。

実際には、検索結果に上位表示させるには数々の施策が必要で、簡単には上位表示されませんが、検索結果に表示させたくないページは、ここにチェックを入れます。

※ 他の部分は皆さんには関係ありませんので、触らなくてOKです。

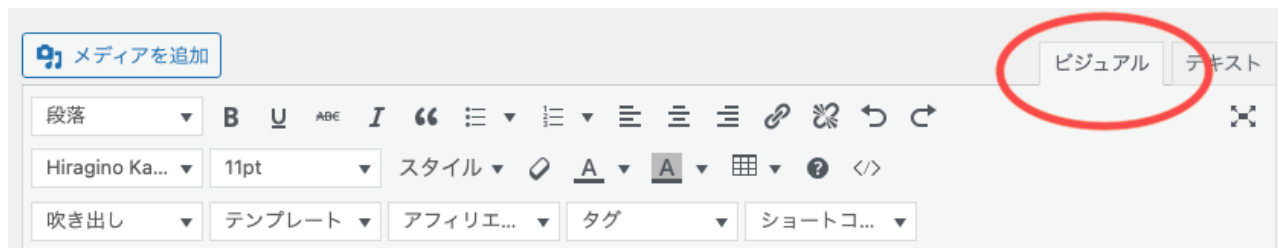
ここでいったん「下書き保存」しましょう。

保存は、作成中、適当にちょこちょこやってください。

⑥ 本文の入力

本文は、基本的にビジュアルモードで入力してください。

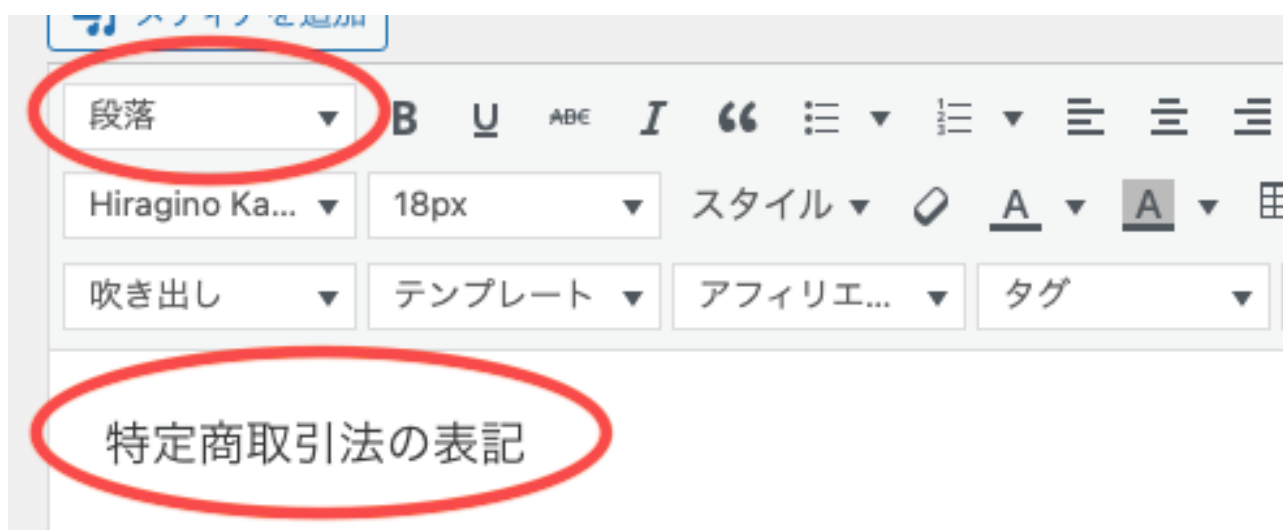
テキストモードはHTMLという専門的な表記になっています。



ちなみに、アイコンとして並んでいるのが、プラグインAdvanced Editor Toolsで設定したものです。

まず最初に、タイトルとして「特定商取引法の表記」と入力。

その行にカーソルを当てた状態で、段落 → 見出し2・3・4から好きなものを選択。



見出し1は、タイトルバーの部分のことになりますので、本文内では使用しません。

そして、タイトルバーに入力したものは、記事には表示されませんので、一番最初にタイトルとなる文言を入れます。

※ 本来は表示されますが、レター作成時に邪魔になるため、CSS設定でタイトルが表示されないようにしたため表示されません。

※ プレビューをクリックすると、実際の記事のプレビュー画面が見れます。

改行して、セールスレターの書き方でご紹介したテンプレートに沿って、入力して行ってください。

表形式で書いているサイトが多いですが、項目さえあっていれば、型式に決まりはありません。

テーブルを使用して表を作成するのも良いですが、今後おそらく使う機会がないため、わからない方は無理して使う必要はないと思います。

もしどうしても気になるなら、こちらのブログ記事がわかりやすかったので、参考としてリンクを貼っておきます。

>><https://ikuzoblog.com/cocoon-table>

✓ 改行について

改行は2種類あります。

enterのみで使うことがほとんどですが、レイアウトに合わせて適宜使用してください。

特定商取引法の表

あああああああ。

← enter

iiiiiiiiiiiiiiiiiiii。

ううううううううううう、

ええええええええええおお。


← shift + enter

プレビューで確認して、問題なさそうであれば「公開」。

9割の人はPCではなくスマホから見ているので、公開したら、最後は必ずスマホでも確認して、おかしいところがあれば修正してください。

✓ PC上でスマホ表示で見する方法

Google Chromeを使用している場合に限りませんが、下記どちらかの方法でスマホ表示ができます。

- ・ スマホ表示したい画面上で右クリック → 検証
- ・ 画面右上の  をクリック → その他のツール → デベロッパーツール

途中途中はこの方法で確認すると便利だと思います。

ですが、実際スマホを手にとって見るのとでは感覚が違いますので、最終的には必ずスマホで見るとようにしましょう。

【2】プライバシーポリシー

プライバシーポリシーは、デフォルトで作成されているものの内容を変えて公開して構いません。

全選択して消して、入れ直しましょう。

(全選択 : mac→⌘+A , Windows→control +A)

特定商取引法の表記で紹介した①～⑤の手順は踏んでください。

(パーマリンクはそのまま使えます。)

もし、デフォルトで見当たらない場合は、特定商取引法の表記で紹介した手順で新たに作成してください。

【3】セールスレター

同じように「新規作成」して、①～⑤の手順を踏んでください。

では、セールスレター作成時に使用する機能についてご紹介します。

✓ 画像の挿入

「メディアを追加」→「アップロード」→「ファイルを選択」
→挿入したい画像を選択。

一番最初は、右下の表示設定が右のようになっているかもしれません。

* 配置 : なし → 中央

* サイズ : 中 → フルサイズ

に変更してから「固定ページに挿入」しましょう。

添付ファイルの表示設定

配置	なし
リンク先	なし
サイズ	中 - 300 x 200

固定ページに挿入

✓ 画像サイズについて

固定ページの横幅は900pxに設定されています。

900px以上だと自動的に調整されますが、900px以下だと記事横幅よりも小さく表示されます。

スマホでは、レスポンシブ表示と言って、自動的にそれぞれのスマホのサイズに合わせて表示されますので、スマホのことは考えなくてOKです。

ここは好みの問題もあり、〇〇pxが正解というのはないのですが、PC表示のことを考えると横幅640px以上はあると見栄えが良いと思います。

そして大切なのは、すべての画像の横幅はサイズを揃えることです。

ガチャガチャしていると、とても見づらく、それだけでも離脱の原因になりかねません。

かといって、持っている画像がすべて同じサイズではないと思います。

その場合、下記オンラインツールを使用すると、簡単にサイズ変更ができますので、使ってみてください。

アカウント登録なども必要なく、無料で使用できます。

画像サイズ変更ツール ➡ <https://www.iloveimg.com/ja/resize-image>

使い方も簡単で、画像を選択して、「ピクセル」のタブを選択し、好みのpxサイズを入力し、サイズ変更された画像をダウンロードするだけです。

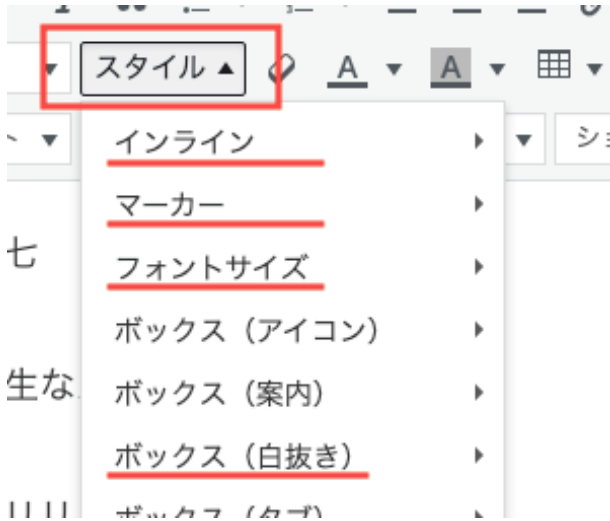
✓ 文字の装飾

装飾したい文字を選択して、アイコンをクリックします。



左から順に、

- ・太文字
- ・アンダーライン
- ・打ち消しライン
- ・イタリック（斜め文字）



- ・インライン
文字に色をつける
- ・マーカー
文字にマーカーや
色付きアンダーラインを引く
- ・フォントサイズ
文字サイズ変更
- ・ボックス
色付きボックスで囲む

他は使用しないと思いますので、紹介は省きます。



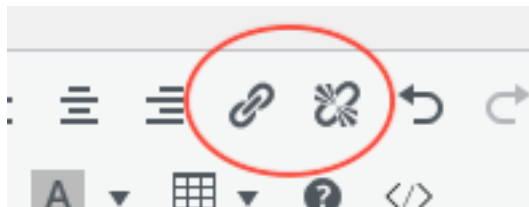
- 左：文字色
- 右：文字背景色

2番目の方法は色が限られていますので、もし、他の色を使用したい場合はこの方法で装飾してください。



左から順に、

- ・文字左寄せ
- ・文字中央寄せ
- ・文字右寄せ

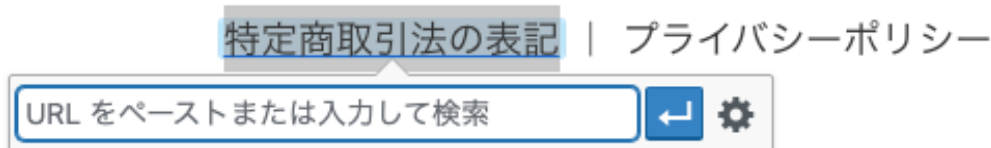


左：リンクの挿入/編集

右：リンクの削除

例として、「特定商取引法の表記」にリンクを貼る場合、まず文字列を選択して、左のクリップマークをクリックします。

その後、表示される窓に、作成した特定商取引法の表記のページURLを入力します。



一番右の歯車マークをクリックして、編集することもできます。

画像にリンクを貼る場合、リンクを貼りたい画像をクリックして選択し、同じ手順で挿入してください。

リンクを解除したい場合も、同じように選択してから、リンク削除マークをクリックします。

基本操作は以上になります。

ご紹介しなかった部分に関しては、使わなくてもレターは作れます。

特に、下記の部分に関しては、ブログ運営に関する機能なので、まったく関係ないので無視で大丈夫です。



もし、使うとしたら「吹き出し」の機能ですね。

これも使い方は簡単で、クリックして画像と文字を入れるだけなので、クリックしてどんな感じか見てみればすぐに使えると思います。

最初は戸惑うこともあると思いますが、使っているうちに必ず慣れていきますので、とにかく書いて使ってみましょう。

ここで話したことが今はよくわからなくても大丈夫です。

まずはとにかく、記事が書けさえすれば良いのです。

どんどん書いてみてくださいね。

わからないことがあれば、

「ワードプレス ○○ やり方 cocoon」などでググってみてください。

最初にもお話ししましたが、Cocoonの使い方について記事を書いているブロガーさんがたくさんいますので、ググれば解決しないことはないと言っても過言ではありません。

Cocoonマニュアルを見ても見るのも良いですが、若干、玄人向けに書かれている印象なので、ググった方が親切に教えてくれているブログが出てくるかと思っています。